

区分	一般			特定
	特積	利用	霊柩	

貨物自動車運送事業実績報告書

あて 住所
事業者名
代表者名
(役職名及び氏名)
電話番号

事業概況(年3月31日現在)

事業用自動車数	両	従業員数	人	運転者数	人
---------	---	------	---	------	---

事業内容(前年4月1日から3月31日まで)

・ダンプによる土砂等輸送	・冷凍、冷蔵輸送
・基準緩和認定車両による長大物品等輸送	・厚木、製材輸送
・国際海上コンテナ輸送	・引越輸送
・コンクリートミキサー車による生コンクリート輸送	・その他
・危険物等輸送	()

輸送実績(前年4月1日から3月31日まで)

	延実在車両数 (日車)	延実働車両数 (日車)	走行キロ (キロメートル)	実車キロ (キロメートル)	輸送トン数		営業収入 (千円)
					実運送(トン)	利用運送(トン)	
北海道							
東北							
北陸信越							
関東							
中部							
近畿							
中国							
四国							
九州							
沖縄							
全国計							

事故件数(前年4月1日から3月31日まで)

交通事故件数	重大事故件数	死者数	負傷者数
--------	--------	-----	------

- 備考 1. 区分の欄は、該当する事項を○で囲むこと。
2. 従業員数は、兼営事業がある場合は、主として当該事業に従事している人数及び共通部門に従事している従業員のうち当該事業分として適正な基準により配分した人数とし、運転者数を含むものとする。
3. 事業内容については、主なもの三項目以内を○で囲むこと。
4. 危険物等とは、自動車事故報告規則(昭和26年運輸省令第104号)別記様式の(注)の「積載危険物等」をいう。
5. 輸送実績については、地方運輸局の管轄区域ごとに、当該地方運輸局の管轄区域内にあるすべての営業所に配置されている事業用自動車の輸送実績(ただし、輸送トン数(利用運送)については、当該地方運輸局の管轄区域内にあるすべての営業所において行った貨物自動車利用運送に係る貨物取扱量)について記載すること。
6. 交通事故とは、道路交通法(昭和23年法律第105号)第72条1項の交通事故をいう。
7. 重大事故とは、自動車事故報告規則第2条の事故をいう。

記入例

第4号様式（第2条関係）（日本工業規格A列4番）

事業者番号 記入しない

区分	一般			特定
	特積	利用	霊柩	

→ いずれかに○をつける

貨物自動車運送事業実績報告書

あて 住所 福島市〇〇町××字△△△△△32
 事業者名 〇〇運輸株式会社
 代表者名 代表取締役 △△△△
 (役職名及び氏名)
 電話番号 024-558-〇〇××

事業概況（平成21年3月31日現在）

事業用自動車数	25台	従業員数	30人	運転者数	28人
---------	-----	------	-----	------	-----

事業内容（前年4月1日から3月31日まで）該当する事業に○をつける（その他の欄は運んでる物を記入）

・ダンプによる土砂等輸送	・冷凍、冷蔵輸送
・基準緩和認定車両による長大物品等輸送	・原木、製材輸送
・国際海上コンテナ輸送	・引越輸送
・トラックミキサー車による生コンクリート輸送	・その他 輸送品目、輸送形態を記入する
・危険物等輸送	(例:食料品の配送、機械部品の貸切輸送など)

輸送実績（前年4月1日から3月31日まで）

	延実在車両数 (日車)	延実働車両数 (日車)	走行キロ (キロメートル)	実車キロ (キロメートル)	輸送トン数		営業収入 (千円)
					実運送(ト)	利用運送(ト)	
北海道							
東北	9,125	6,200	468,932	358,903	26,541	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇
北陸信越							
関東			走行キロの出し方	全部の走行キロ数			
中部							
近畿				実車キロの出し方	荷物を積んで走った走行キロ数		
中国							
四国							
九州							
沖縄							
全国計	9,125	6,200	468,932	358,903	26,541	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇

事故件数（前年4月1日から3月31日まで）（必ず記入する。）

交通事故件数	3	重大事故件数	0	死者数	0	負傷者数	0
--------	---	--------	---	-----	---	------	---

→ 本社又は営業所のある局の欄に記入する（福島県内だけの時は東北に）

注：荷物を運んだ地域ではありません

★ 実在車両数の出し方 例：車が1年を通して25台の場合
 例：25台×365日＝9,125台となります。（年の途中で車の増減があった場合は違ってきます）

★ 実働車両数の出し方 実在車両数のうち実際に動いた台数を記入する
 例：年間117日が休日とすると 365日－117日＝248日
 248日×25台（全部の車両が動いた場合）＝6,200台（同じ車が1日に何回動いても1回とする）

★ 輸送トン数の出し方 実運送とは自分の会社で運んだトン数 利用運送とは他社に頼んで運んだトン数
 砕石等を運んでトン数がわからない場合m³で記入、霊柩の場合〇体とする。